



Dr.Web Premium サブスクリプションサービス 説明資料

www.drweb.com

Doctor Web について



- 1992年 創業者 Igor Danilovが、Dr.WEBという名のアンチウイルスソフトを初めて開発
- 1999年 **世界初のふるまい検知**テクノロジーSplDer Nettingを開発
- 2003年 法人格「Doctor Web Ltd.」を設立

280人の従業員のうち、160人が開発および解析作業に従事。
全世界の個人ユーザから大手企業まで利用され、
世界的なアンチウイルスソフトウェアに成長。



インターネットに潜む害虫(マルウェア)から
Spiderweb(クモの巣)が守ります。



Doctor Web Pacific（日本法人）について

Doctor Web Pacificは、2010年12月に設立された「Doctor Web Ltd.」の子会社です。

Doctor Web Pacificは、アンチウイルス『Dr.WEB』の製品とサービスを約5,000を超す団体に販売。

警察機関、金融機関、サイバーセキュリティ会社と連携しながら国内のコンピュータ環境を保護しております。

マルウェアの検出・駆除能力および感染されたシステムを回復する能力を高く評価いただき、

日本国内においても5,000を超す団体で利用されております。

会社名	株式会社Doctor Web Pacific
英文表記	Doctor Web Pacific, Inc
所在地	東京都港区西新橋1-14-10西新橋スタービル 2F
代表者	森 周
TEL/FAX	03-6550-8770 / FAX : 03-6550-8771
業務開始日	2010/12/14
資本金	7300万円（Doctor Web, Ltd. 100%出資）



サービスコンセプト



Dr.Web Premium サブスクリプションサービスとは？

欧州で初めて提供されたアンチウイルス・サブスクリプションサービスです。

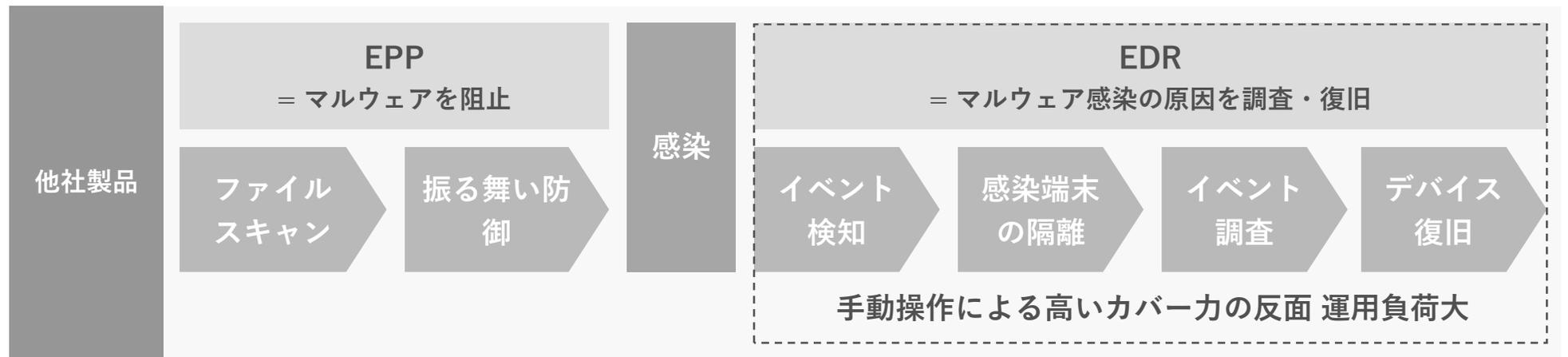
日本市場においては、Doctor Web Pacific が提供するクラウド上に構築されたサーバを通じて、Dr.Web Anti-Virusを提供致します。

ユーザーは、管理サーバ等を構築する必要なく、いつでもWeb上の管理ツールから自社のPC、スマートフォン、タブレットを管理できます。





Dr.Webが考えるエンドポイントセキュリティー



Dr.Webひとつでエンドポイントセキュリティーを全てカバー



Dr.Webの製品コンセプト

使いやすさを追求したシンプルなアンチウイルスソフト

Dr.Webで
安心

あらゆる潜んだ未知の
マルウェアを検知

Dr.Webで
快適

最適化された機能群。
使いやすさによる運用コストを低減

安全・快適に特化することで下記メリットを提供いたします。

point 1 ランサムウェアの検知力

point 2 PCのリソースの大幅な削減

信頼性の高いテクノロジーで
快適なセキュリティ運用を実現します

既知の脅威を検出

シグニチャー
データベース

1つのエントリで、亜種を含む数千個
のウイルスを検知

未知の脅威を検出

非シグニチャー型
テクノロジー

シグニチャーを使わずに高度な検知
を実行する様々な分析技術

未知の脅威を検出

機械学習を応用した
マルウェア検出技術

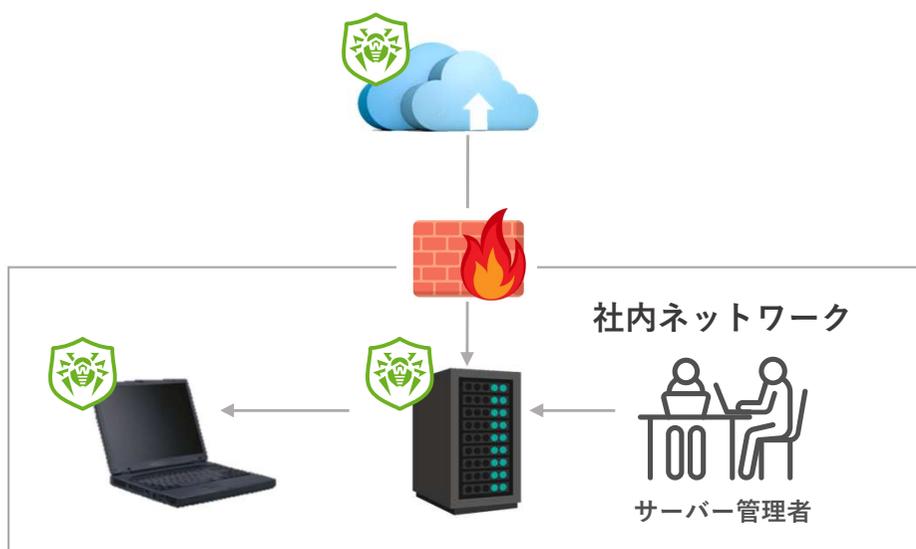
未知の脅威を検出

予防的保護の
テクノロジー

オンプレミス型とSaaS型の違い

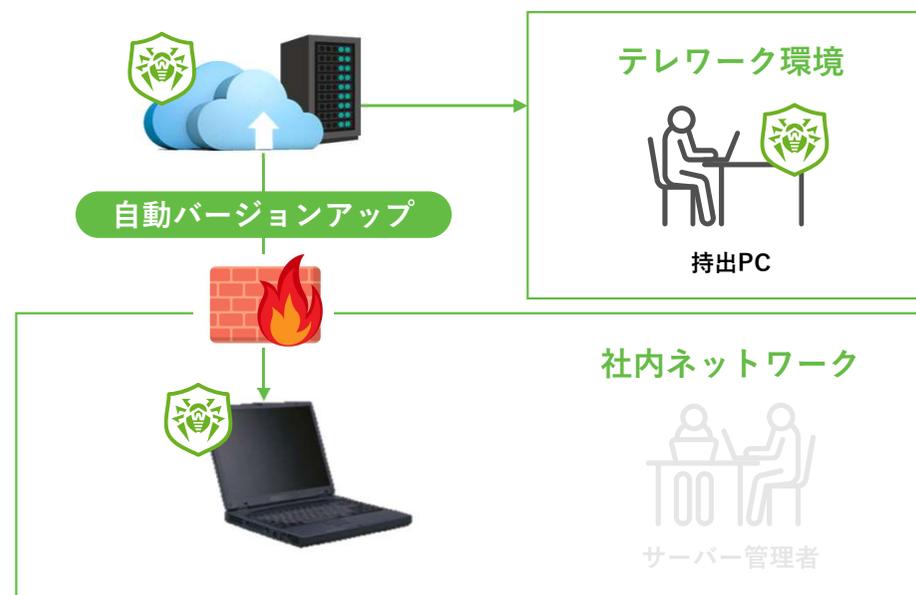
管理サーバがクラウド上に配備され、管理コストを低減します。

オンプレミス型



- サーバーへのアクセスは社内からのみ
- メンテやバージョンアップ等サーバー管理が必要

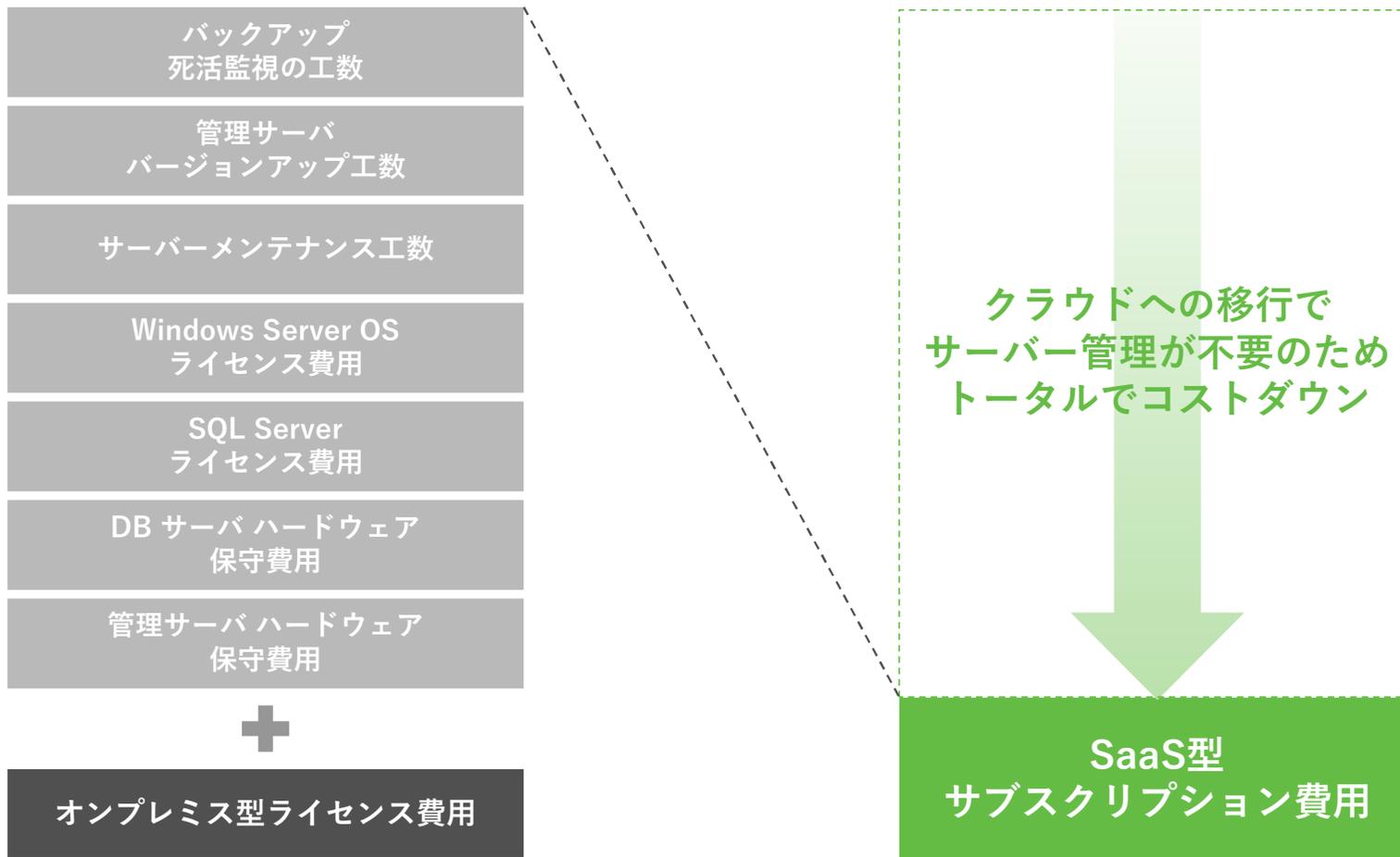
SaaS型



- ✓ ユーザーがいつでもサーバーにアクセス可能
- ✓ サーバーのメンテナンス、バージョンアップが不要



SaaS型移行によるコスト最適化のイメージ





SaaS型エンドポイントセキュリティのメリットとは？

1. 運用の自動化による作業負荷の軽減

- ・自動アップデート＋自動バージョンアップ＋自動パッチ適用
- ・手間を掛けずに常に最新の状態で脅威対策が可能

2. どこにいてもクラウドから一元管理

- ・社内にある端末だけでなく、社外に持ち出した端末も管理可能
- ・テレワークやリモートワークなどの働き方改革を支援

3. クラウド上での管理サーバ利用でコスト最適化※

- ・社内にエンドポイント仮サーバの構築は不要
- ・ハードウェア関連費用とバージョンアップ作業費用の削減

※全体的なコストの増減についてはお客様の環境や運用状況に依存します。



Dr.Webサブスクリプションサービス が提供する脅威からの保護機能と 運用管理機能



保護コンポーネント

コンポーネント	説明
SplDer Guard：リアルタイムスキャン	メモリに常駐し、プロセスとファイルの起動と作成に対して、悪意のあるアクティビティを検出します。
SplDer Guard for SMB：リアルタイムスキャン	Samba共有ディレクトリ内のファイルに適用されたアクションをモニタリングします。常駐モニターとして機能し、保護対象のファイルシステム内の基本的なアクション（作成、開く、閉じる、読み取り、書き込みの操作）を制御します。
SplDer Gate：トラフィックスキャン	アクセス先のURLが危険か判断し、ブロックします。
SplDer Mail：メールスキャン	送受信時のメールウイルスを検出駆除。
Dr.Web Firewall	不正アクセスから保護し、重要なデータがネットワークを通じて漏洩するのを防ぐパーソナルファイアウォール。
Office Control	Webサイト、ファイル、フォルダへのアクセス制限や、利用デバイスの制限、インターネット接続時間制限などの設定ができます。
動作解析：ふるまい検知機能 (Behavior Analysis)	HOSTSファイルや重要なシステムレジストリキーの変更などを監視し、ブロックします。
ランサムウェア保護：ふるまい検知機能 (Ransomware Protection)	ランサムウェアをブロックします。
エクスプロイト防止：ふるまい検知機能 (Exploit Prevention)	アプリケーションの脆弱性を利用する悪意のあるオブジェクトをブロックします。
Scanner：手動スキャン	ユーザが任意タイミングでスキャンを行います。
Application Control	業務に関係ないアプリケーションの利用をブロックすることができます。

保護機能「SplDer Guard」：ファイルシステムのリアルタイム保護

メインメモリ内に常駐し、リアルタイムで端末を監視し脅威を検出します。

SplDer Guard はOS起動時に自動的に起動され、プロセス・ファイル・メモリへのアクションが行われたタイミングでスキャンを実行します。

Security Center > ファイルとネットワーク > SplDer Guard

← ファイルとネットワーク

SplDer Guard

システムをリアルタイムでスキャンします。

スキャンのオプション

リムーバブルメディアをスキャンする

オン

リムーバブルメディアのオートランをブロックする

オン

アクション

感染した

修復、修復不可能な場合は隔離(推奨)

疑わしい

隔離(推奨)

Security Center > ファイルとネットワーク > SplDer Guard

← ファイルとネットワーク

SplDer Guard

システムをリアルタイムでスキャンします。

アクション

感染した

修復、修復不可能な場合は隔離(推奨)

修復、修復不可能な場合は隔離(推奨)

修復、修復不可能な場合は削除

隔離

削除

隔離(推奨)

ダイアラー

隔離(推奨)

ジョークプログラム

※初期では各端末での設定は出来ません。管理サーバ (Control Center) にて、設定が行えます。

保護機能「SpIDer Gate」：Webトラフィックをチェック

受信するHTTPトラフィックを検査し悪意のあるオブジェクトを全てブロックします。

SpIDer Gateは、HTTPSなどの暗号化プロトコルで送信されたデータもチェックできます。

The image shows two overlapping screenshots from the Security Center application. The background screenshot is titled "Security Center > ファイルとネットワーク > SpIDer Gate". It displays the "SpIDer Gate" settings page, which includes a description: "受信トラフィックと送信トラフィックをリアルタイムで監視します。" (Monitor incoming and outgoing traffic in real-time). Under "スキャンのオプション" (Scan options), there is a toggle switch for "IMクライアントのトラフィックとURLをスキャンする" (Scan IM client traffic and URLs), which is currently turned "オン" (On). Below this, it says "Mail@RU Agent、ICQ、Jabberなどのインスタントメッセージクライアントによって送られたデータやURLをスキャンします" (Scan data and URLs sent by instant messaging clients like Mail@RU Agent, ICQ, Jabber, etc.). Under "ブロックパラメータ" (Block parameters), there are two more toggle switches, both turned "オン": "著作権者からの申し立てによってリストに登録されたURLをブロックする" (Block URLs registered in the list due to a claim from the copyright holder) and "非推奨サイトをブロックする" (Block non-recommended sites).

The foreground screenshot is titled "Security Center > 除外 > Webサイト" (Security Center > Exceptions > Websites). It shows the "Webサイト" (Websites) exception list. The description reads: "Dr.Webによって非推奨とされているWebサイトへのアクセスを許可することができます。これらのサイトに対するウイルススキャンは引き続き実行されます。" (You can allow access to websites considered non-recommended by Dr.Web. Virus scanning for these sites will continue to be performed). Below the description is an empty text input field with icons for adding (+), editing (pencil), deleting (trash), and more options (three dots). At the bottom, there is a table with one entry:

ファイル名
SpIDer Gate

※初期では各端末での設定は出来ません。管理サーバ（Control Center）にて、設定が行えます。

保護機能「SpIDer Mail」：メールスキャン

メールクライアントとメールサーバー間の通信を監視します。**メールの送受信においてもマルウェアを検出し駆除します。**

Dr.Web Anti-spamを使用して、スパム（迷惑メール）をスキャンすることもできます。



※初期では各端末での設定は出来ません。管理サーバ（Control Center）にて、設定が行えます。

保護機能「Dr.Web Firewall」：パーソナルファイアウォール

不正アクセスからパソコンを守り、重要なデータがネットワーク経由で漏洩することを防ぎます。

アプリケーションレベルおよびネットワークレベルで疑わしい接続をブロックします。

Dr.Web Firewallは、ホワイトリストに登録されているものを除き、全てのアプリケーションによる通信とポートを監視します。

Security Center > ファイルとネットワーク > Firewall

← ファイルとネットワーク

Firewall

ネットワークとアプリケーションレベルで接続設定とデータ転送を監視します。

動作モード

未知の接続を許可

ループバックインターフェイスを許可

オン

アプリケーション

アプリケーションのフィルタリングルールを指定

アプリケーションルール 変更

Security Center > ファイルとネットワーク > Firewall > ネットワーク

← Firewall

ネットワーク

現在のフィルタリングルールを確認・編集、または新しいルールを追加することができます。

ルールセット

特定のネットワークインターフェイス経由で送信されるパケットのフィルタリングに使用するルールセットを選択してください。

ネットワークインターフェイス	アダプター	ルールセット
Ethernet	Realtek PCIe GBE Family Controller	Default Rule
VirtualBox Host-Only Network	VirtualBox Host-Only Ethernet Adapt...	Default Rule

※初期では各端末での設定は出来ません。管理サーバ（Control Center）にて、設定が行えます。

保護機能「Office Control」：簡易フィルタリング機能

ユーザーが不適切なWebサイト（暴力、ギャンブルなど）にアクセスすることを制限したり、特定のWebサイトのみアクセスを許可することができます。

Security Center > Office Control > user > インターネット

← Office Control

user

インターネット 時間 ファイルとフォルダ

Webサイトへのアクセスを設定し、ブラックリストとホワイトリストを作成する。

カテゴリ別にアクセスを制限する

制限なし
カテゴリ別にアクセスを制限する
ホワイトリスト上のWebサイトに対するアクセスのみを許可

ブラックリストとホワイトリスト

リストは空です 変更

セーフサーチ

検索エンジンに対して自動的にセーフサーチを有効にする

オン

Security Center > Office Control > インターネット > user > カテゴリ別にアクセスを制限する

← user

Webサイトのカテゴリ

アクセスを制限するカテゴリを選択できます。

<input checked="" type="checkbox"/> アダルトコンテンツ	<input checked="" type="checkbox"/> テロリズム
<input checked="" type="checkbox"/> 暴力	<input type="checkbox"/> 卑猥な表現
<input checked="" type="checkbox"/> 武器	<input type="checkbox"/> チャット
<input checked="" type="checkbox"/> ギャンブル	<input type="checkbox"/> メール
<input checked="" type="checkbox"/> 麻薬	<input type="checkbox"/> ソーシャルネットワーク
<input checked="" type="checkbox"/> オンラインゲーム	<input type="checkbox"/> アノマイザー
<input checked="" type="checkbox"/> 仮想通貨マイニングプール	<input type="checkbox"/> 求人情報

※初期では各端末での設定は出来ません。管理サーバ（Control Center）にて、設定が行えます。

保護機能「動作解析」：ふるまい検知（予防的保護）機能

従来の検出手法を回避することができる未知の悪意のあるプログラムからシステムを保護します。お使いのコンピューターを感染させる可能性のある信頼されていないアプリケーションの動作に対するDr.Webの対応を設定することができます。

Security Center > Preventive Protection > Behavior Analysis > 保護レベル

← Preventive Protection

Behavior Analysis

保護レベル アプリケーションアクセス

保護されているオブジェクトへのアクセスを試みるアプリケーションに対するDr.Webのアクションを決定する保護レベルを選択します。これらのパラメータは、カスタムオプションが設定されているアプリケーションには適用されませんのでご注意ください。

最適 (推奨)

保護するオブジェクト	許可	ユーザーに確認	ブロック
実行中のアプリケーションの整合性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
HOSTS ファイル	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ディスクへの低レベルアクセス	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ドライブのロード	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
イメージ実行オプション	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Security Center > Preventive Protection > Behavior Analysis > アプリケーションアクセス

← Preventive Protection

Behavior Analysis

保護レベル アプリケーションアクセス

Dr.Webによって保護するオブジェクトごとのアクセスパラメータを設定します。パラメータが設定されていないアプリケーションには、選択された保護レベルが適用されます。

アプリケーション	パス
notepad.exe	C:\Windows\notepad.exe

※初期では各端末での設定は出来ません。管理サーバ（Control Center）にて、設定が行えます。

保護機能「ランサムウェア保護」：ふるまい検知（予防的保護）機能

既知のアルゴリズムを使用してユーザーファイルを暗号化しようとするプロセスをセキュリティ上の脅威として検出することができます。

The screenshot shows the Windows Security Center interface for Ransomware Protection. A dropdown menu is open, showing options: 'ブロック' (Block), 'ブロック' (Block), 'ユーザーに確認' (Ask user), and '許可' (Allow). Below it is a table of application rules. An 'アプリケーションルール' (Application Rule) dialog box is also shown, with the application path 'C:\Program Files (x86)\Google\Chrome\Application\chrome.exe' and the rule set to 'ブロック' (Block).

アプリケーション	ルール	パス
notepad.exe	ブロック	C:\Windows\notepad.exe
ieexplore.exe	ユーザーに確認	C:\Program Files (x86)\Internet Explorer\ieexplore
chrome.exe	許可	C:\Program Files (x86)\Google\Chrome\Appl...

※初期では各端末での設定は出来ません。管理サーバ（Control Center）にて、設定が行えます。

保護機能「エクスプロイト防止」：ふるまい検知（予防的保護）機能

- ✓ アプリケーションの脆弱性を使用する悪意のあるプログラムをブロックできます。
- ✓ Windows OS等の脆弱性を突いた悪意あるプログラムをエクスプロイト防止機能でブロックすることが可能です。
- ✓ Dr.Web クラウドサービスのデータを活用し、既知の脆弱性を悪用するプログラムをブロックします。



The screenshot shows the Windows Security Center interface. The breadcrumb path is "Security Center > Preventive Protection > Exploit Prevention". The main heading is "Preventive Protection" with a back arrow, and below it is "Exploit Prevention" with a shield icon. A description reads: "Adobe Reader、Internet Explorer、Firefoxなどの知名度の高いアプリケーションの脆弱性を悪用する悪意のあるプログラムをブロックします。" A dropdown menu is open, showing four options: "認証されていないコードの実行を防止" (selected), "認証されていないコードの実行を防止", "インタラクティブモード", and "認証されていないコードの実行を許可".

保護機能「Scanner」：手動スキャン

ブートセクター、メモリー、複合オブジェクト（アーカイブ、コンテナ、メール）内にある個別のファイルやオブジェクトを検査します。**手動または、予め設定したスケジュールに沿って実行します。**

The screenshot shows the 'Scanner' settings in the Security Center. The settings are as follows:

- スキャンのオプション
- バッテリー駆動時にスキャンを一時停止する: オフ
- 警告音を有効にする: オフ
- コンピューターリソースの使用: 最適 (推奨)
- アクション
- 感染した: 修復、修復不可能な場合は隔離 (推奨)
- 疑わしい: 隔離 (推奨)

On the right, a notification window titled 'カスタムスキャンが完了しました' (Custom scan completed) shows the results of a scan:

- スキャンが完了しました
- スキャン済みのオブジェクト: 2645
- 検出された脅威: 3
- 駆除された脅威: 0
- 検出された全ての脅威を直ちに駆除することを推奨します。Dr.Web Scannerは設定に応じてアクションを適用します。
- 駆除 (button)

ファイル名	脅威	アクション	パス
▶ 感染した	2	修復、修復不可...	
▶ アーカイブ	1	隔離	

運用管理機能：統計情報の確認

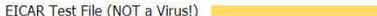
各端末のマルウェア検出情報をControl Center（集中管理サーバ）で確認することが可能です。

➤ 脅威情報

どの端末で、いつ、どのような脅威が検出されたか等を確認できます。

➤ 脅威統計情報

どのような脅威が検出されたかを確認できます。

脅威情報									
脅威					最も多く検出された脅威				
最も多く攻撃を受けた端末					最も多く検出された脅威				
DWP-Cent73-ESS11 					EICAR Test File (NOT a Virus!) 				
<input type="checkbox"/>	時刻	ID	端末	端末アドレス	種類	脅威	アクション	コンポーネント	オブジェクト
<input type="checkbox"/>	20-10-2020 01:13:02	096b0ef9-d6be-443d-a99c-bfc1893b5232	DWP-Cent73-ESS11	ssl://127.0.0.1:38470	感染	EICAR Test File (NOT a Virus!)	隔離	SpIDer Guard for UNIX	/root/eicar.com.txt
<input type="checkbox"/>	20-10-2020 07:13:02	096b0ef9-d6be-443d-a99c-bfc1893b5232	DWP-Cent73-ESS11	ssl://127.0.0.1:38470	感染	EICAR Test File (NOT a Virus!)	隔離	SpIDer Guard for UNIX	/root/eicar.com.txt
<input type="checkbox"/>	20-10-2020 13:13:01	096b0ef9-d6be-443d-a99c-bfc1893b5232	DWP-Cent73-ESS11	ssl://127.0.0.1:38470	感染	EICAR Test File (NOT a Virus!)	隔離	SpIDer Guard for UNIX	/root/eicar.com.txt

脅威統計情報			
脅威のクラス		最も多く検出された脅威	
感染 	3	EICAR Test File (NOT a Virus!) 	3
脅威	種類	端末	合計
EICAR Test File (NOT a Virus!)	感染	1	3

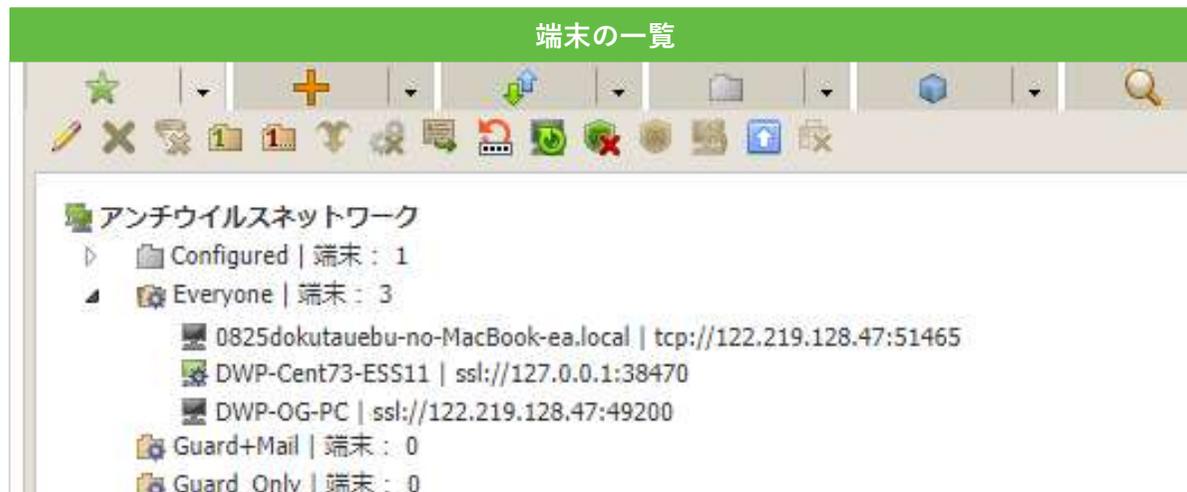
運用管理機能：端末ステータスの確認

各端末のステータスは、リアルタイムにControl Center（集中管理サーバ）で視覚的に表示することが可能です。

※端末アイコンの色により確認可。

また、詳細情報も確認することができます。

コンポーネントが最新であれば、
ふるまい検知で多くの未知の脅威を
検知可能



ステータス情報						
時刻	ID	端末	端末アドレス	重要度	ソース	メッセージ
20-10-2020 15:29:04	096b0ef9-d6be-443d-a99c-bfc1893b5232	DWP-Cent73-ESS11	ssl://127.0.0.1:38470	非常に低い	Agent	OK
04-09-2020 14:36:38	ca94ab81-9227-47e3-aadc-79f5b0df4a0c	0825dokutauebu-no-MacBook-ea.local	tcp://122.219.128.47:51465	高い	Server	Dr.Webウイルスデータベース製品は古くなっています
04-09-2020 14:36:38	ca94ab81-9227-47e3-aadc-79f5b0df4a0c	0825dokutauebu-no-MacBook-ea.local	tcp://122.219.128.47:51465	高い	Server	Dr.Web Agent for UNIX製品は古くなっています
25-08-2020 12:29:18	60819363-d21d-b211-928c-f40742dbfce1	DWP-OG-PC	ssl://122.219.128.47:49200	非常に低い	Agent	端末がオフラインか、Agentが動作していません



対応OSおよび価格



対応OS

対象	対応OS
PC ワークステーション	<p><Windows> 32ビットプラットフォーム： • Windows XP Service Pack 2以降 • Windows Vista • Windows 7 • Windows 8 • Windows 8.1 • Windows 10 21H1以前 64ビットプラットフォーム： • Windows Vista Service Pack 2以降 • Windows 7 • Windows 8 • Windows 8.1 • Windows 10 21H1以前 • Windows 11</p> <p><Mac> • macOS 10.12 Sierra • macOS 10.13 High Sierra • macOS 10.14 Mojave • macOS 10.15 Catalina • macOS 11 Big Sur • macOS 12 Monterey • macOS 13 Ventura • macOS 14 Sonoma</p> <p><Linux> 法人向けDr.Web製品のマニュアル ワークステーションを保護するDr.Web Desktop Security Suite 「Dr.Web for Linux」を確認ください。 https://download.drweb.co.jp/doc/</p>
サーバ	<p><Windows> 32ビットプラットフォーム： • Windows Server 2003 with Service Pack 1 以降 • Windows Server 2008 with Service Pack 2 以降 64ビットプラットフォーム： • Windows Server 2008 with Service Pack 2 以降 • Windows Server 2008 R2 with Service Pack 1 以降 • Windows Server 2012 • Windows Server 2012 R2 • Windows Server 2016 • Windows Server 2019 • Windows Server 2022</p>
モバイルデバイス	<p><Android OS> Android 4.4以降</p>

お得な価格設定

- Android向けサブスクリプションを無料でご提供！
対象となるPC / Macと同数Androidサブスクリプションを提供致します。
- Windows Server向けサブスクリプションを同じ価格で提供！
- 他社よりも安価の定価設定！



お得な価格設定

Dr.Web Premium サブスクリプションサービス 価格表

		Premium	
		月額	年額
台数	1-4	350	4,200
	5-9	310	3,720
	10-19	280	3,360
	20-29	230	2,760
	30-49	210	2,520
	50-99	190	2,280
	100-149	170	2,040
	150-249	150	1,800



台数:250以上は、お問い合わせください。



期間限定：3ヶ月間無償トライアル

テレワーク向けクラウド型アンチウイルスサービスを無償提供

【お申込期間：無期限延長中】

- 最大3ヶ月間無償提供（申込当月1日からスタート）
- 企業単位でお申込み可能（1回のお申込みおおそよ100台まで）
- 技術サポートへのお問い合わせ可能

下記URLからお申込み下さい。

<https://dwp.support/form/avd free 3month/avd free.html>





今後とも宜しくお願い致します。

Doctor Web Pacific, Inc
<http://www.drweb.co.jp/>